# 第9回 子ども・子育て支援全国研究大会 2018 in 埼玉

テーマ 伝承

## ～子どもたちへ手渡したい未来～

◆参加費　16,000円(会員)／18,000円(非会員)
◆交流会　12月3日(月)18:30～(会場:ウェスタ川越内　多目的ホール)
会費:7,000円 ※事前申込み
◆お弁当　12月4日(火)のみ ※事前申込み

参加登録はこちらから→

※申込み開始日　9月10日(月)

## 日時 12月3日(月)・4日(火)

## 会場 ウェスタ川越

〒350-1124
埼玉県川越市新宿町1-17-17

主催　日本子ども子育て支援センター連絡協議会（日本子ども子育てネット）
主管　埼玉子ども子育て支援センター連絡協議会（埼玉ここネット）
後援　内閣府 厚生労働省 埼玉県 川越市 全国保育協議会 日本保育協会 全国私立保育園連盟

埼玉ここネットのフェイスブックです。
今後こちらで大会に関する色々な情報をお届けしていきます

ここネット 日本子ども子育てネット
埼玉ここネット 日本子ども子育てネット

# 伝承
## ～子どもたちへ手渡したい未来～

大会主旨

本年度から、改定された新保育所保育指針・新教育保育要領のもとでの新しい保育と子ども・子育て支援が始まりました。

本年５月に東京目黒区で発生したような悲惨な虐待事件等の増加、７月の大水害等の近年の異常気象による自然災害、増える一方の子どもの貧困など、健全な育ちと子育てを取り巻く様々な情勢は厳しさを増しており、これらの社会環境の変化は心身の発育不全を始め、気になる子どもの増加など、子どもの育ちにも大きな影を落としています。これらのことから、今後ますます子ども・子育て支援に携わる子育て支援事業への期待が高まっていくものと思われます。

第９回大会は、「小江戸」（こえど）の別名を持つ歴史と伝統の町埼玉県川越市を会場に、日本古来の豊かな子育ての中で「今の私たちが無くしてしまった安心して子育てできる環境が子どもたちに何を与えてくれていたのか」「これからを生きる子どもたちに手渡したいこととはなんだろう」を一緒に紐解きながら、参加者相互の交流と子ども・子育て支援の質の向上を目指して「過去を未来の世代につなぐ架け橋」となるように皆で考え・思いを共有しあえる場となるよう研究大会を開催致します。

## たいむてーぶる

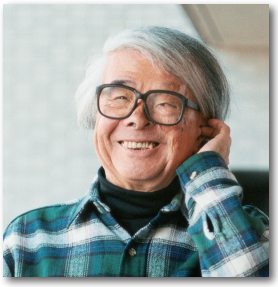
| 日程＼時間 | 8:30 | 9:30 | 10:30 | 11:30 | 12:30 | 13:30 | 14:30 | 15:30 | 16:30 | 17:30 | 18:30 | 19:30 | 20 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1日 12月3日（月） | | | | 受付 | 開会式 | 行政説明 | 緊急企画！特別講演 | 休憩 | パネルディスカッション | 休憩 | 基調講演 | 休憩・移動 | 交流会 ウエスタ川越内多目的ホール |
| 第2日 12月4日（火） | | 受付 | 分科会Ⅰ | | 昼食 | | 分科会Ⅱ | 休憩・移動 | 閉会式 | | 特別企画 | | 18:30 終了解散 |

※掲載の内容は 2018 年 8 月現在のものです。都合により変更になる場合もあります。

## 基調講演　12月3日(月) 16:00～18:00

### 子どもたちへ手渡したい未来

小澤（おざわ） 俊夫（としお） 氏（小澤昔ばなし研究所 所長／筑波大学名誉教授）



1930年中国長春生まれ。口承文芸学者。
1992年より全国各地で「昔ばなし大学」を開講。1998年には独自の昔話研究と実践、若手研究者の育成を目的として、「小澤昔ばなし研究所」を設立。1999年には季刊誌『子どもと昔ばなし』を刊行し、昔話の研究と語りの現場を結びつけることに努めている。昔話資料として『日本昔話通観』全26巻（同朋舎出版）の責任編集にあたり、2005年以後は昔話本来の語り口に基づいた昔話集『子どもに贈る昔ばなし』（昔ばなし研究所）シリーズを刊行している。2007年、ヴァルター・カーン財団のヨーロッパメルヒェン賞を受賞・2011年には、ドイツ・ヘッセン州文化交流功労賞を受賞した。
弟は世界的指揮者の小澤征爾氏。

## 緊急企画！特別講演　12月3日(月) 12:45～13:30

### 子ども虐待を防ぐために保育所で出来ることは何か？
### ～親を加害者にさせないために～

倉石（くらいし） 哲也（てつや） 氏（武庫川女子大学文学部心理・福祉学科 教授）

虐待は防ぐために保育所ができることは２つです。一つは子どもを虐待から守ること、もう一つは親に虐待をさせないことです。子どもの命を守るためには後者つまり「親を加害者にさせない支援」が必要なのです。虐待の報道がされるたびに私たちは子どもへの悲哀と共に、親への処罰感情が芽生えます。しかし、処罰感情は問題解決を生みません。子育てが上手く出来ていないと思う親は処罰感情を持つ保育者を避けます。虐待は親を責めるだけでは解決にならないのです。保育所で出来る支援とは何か？　今こそ考えるときなのです。

関西学院大学大学院、神戸大学大学院修了（博士・学術）
専門は、児童・家庭福祉、ソーシャルワーク。特に、困難家庭への支援について研究中。家族支援研究会主宰。神戸市等で「学齢期子育て支援講座」を開催。
保育所、児童相談所等で虐待予防のケースカンファレンスを実施中

## 行政説明　12月3日(月) 12:15～12:45

### 地域子育て支援拠点事業の役割と課題・今後の展望

厚生労働省　子ども家庭局　子育て支援課

この度の豪雨で被災された皆様ならびにそのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

# パネルディスカッション　12月3日(月) 13:45～15:45

## 子どもをとりまく世界～子育ての蔵に何を入れますか～

コーディネーター　剣持(けんもち) 浩(ひろし)（埼玉ここネット 会長／わらしべ保育園 園長）

### 子育ち・子育ての基本について考える

遠藤(えんどう) 利彦(としひこ) 氏（東京大学大学院教育学研究科教授／
同研究科附属発達保育実践政策学センター副センター長）

子どもの健やかな心と身体の育ちを支え促す絶対的な基盤として、子どもとその子が信頼できる大人とのアタッチメントがあります。このアタッチメントに関して、私たちは何を前世代から継承してきているのか、また何を次世代に伝達していく必要があるのか、少し掘り下げて考えてみたいと思います。

1962年山形県生まれ。東京大学教育学部、同大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士（心理学）。東京大学教育学部助手、聖心女子大学専任講師、九州大学助教授、京都大学准教授などを経て現在、東京大学大学院教育学研究科教授。同研究科附属発達保育実践政策学センター副センター長。日本学術会議会員。専門は発達心理学、感情心理学。

### 日本のたからものをご一緒に守りましょう

有村(ありむら) 治子(はるこ) 氏（参議院議員／元少子化対策担当大臣、初代女性活躍担当大臣）

マタニティマークを全国統一にするよう提案して10年以上が経ち、各地で定着したことは嬉しい限りです。議会人として、また2人の娘をもつ母親として、これからも命を「授かる」という言霊と精神をお伝えしていきたいです。
「生んでくれてありがとう」「生まれてきてくれてありがとう」命の賛歌を愛でることを心の蔵に大切にしてきたいです。

平成13年参議院議員選挙　比例代表（全国区）で初当選、現在3期目。「子ども・子育て支援新制度」導入時の少子化対策担当大臣、初代女性活躍担当大臣を務めました。2人の娘が12年間保育園にお世話になった経験もふまえ、現場に強い議会人を志しています。これからも保育応援団として全国各地の園に伺い、先生方・子育て世代の皆さんと、子ども達の安全と健やかな育みのために働きます。来年夏（2019）、改選を迎えます。

### 子育てというステージ

普光院(ふこういん) 亜紀(あき) 氏（保育園を考える親の会 代表／保育ジャーナリスト）

高度に効率化され分業化された現代社会で、大人たちはどんどん忙しくなっています。でも、子育てはそんな世界とは異次元の世界。まるで高速道路と遊歩道。だから、親はたいへん。でも、だからこそ学べるものがあります。

神戸生まれ。出版社勤務時代に、２人の子どもを保育園に通わせて働く。現在は、保育園を考える親の会代表、保育ジャーナリストとして、執筆・講演活動を行っている。大学の非常勤講師として、児童福祉、子育て支援、子どもの権利などの授業も担当。著書として、『共働き子育て入門』（集英社）、『変わる保育園』（岩波書店）、『子育て支援シリーズ3　地域の子育て環境づくり』（共著　ぎょうせい）、『よくわかる保育所保育指針』（共著　ひかりのくに）、『保育士・幼稚園教諭　論作文・面接対策ブック』（共著　実務教育出版）、『「保育」の大切さを考える』（共著　新読書社）、『共働き子育てを成功させる５つの鉄則』（集英社）、『保育園は誰のもの』（岩波書店）、ほか多数。

### 地域の子どもとして育てる

若盛(わかもり) 清美(きよみ) 氏（埼玉県保育士会 会長／認定こども園こどものもり 副園長）

子ども時代を過ごした実家へお盆で行くと私も遊んだ公園で昔からの「夏まつり」。地域の子ども達が無料で遊べる模擬店等を用意し、大盛況。主催者は私達世代と地元に戻ってきた2代目の甥達。年々薄れる地域の繋がりを感じる事ができた一時であった。

無認可保育所から出発、（学法）幼稚園へ、その後（社福）保育園を立ち上げ、幼保一体の保育を目指した。平成19年埼玉県第1号幼保連携型認定こども園、新制度下で（社福）幼保連携型認定こども園となり現在に至る。平成25年より埼玉県保育士会会長、全国保育士会関東ブロック常任委員2期務める。平成25年より大学非常勤講師、今春定年退職。ＮＨＫ「すくすく子育て」へ不定期出演。東京都世田谷区出身。埼玉県松伏町・（社福）幼保連携型認定こども園こどものもり副園長。

# 分科会Ⅰ　12月4日（火）9:30～11:30

## 分科会 1

### 未来の子どもたちの脳と心の発達を考える

明和（みょうわ） 政子（まさこ） 氏（京都大学大学院教育学研究科教授）

ヒトの心は進化の産物であり、その創発と発達を支える環境もまた進化の所産です。今、ヒトとロボットの共生社会の実現が目前に迫っています。生物としてのヒトがこれまで経験したことのない環境で育つ未来の子どもたちは一体どのように脳と心を発達させていくのでしょうか。

京都大学教育学部卒業。同大学院教育学研究科博士後期課程修了、博士（教育学）。
京都大学霊長類研究所研究員などを経て、現在、京都大学大学院教育学研究科教授。日本学術会議連携会員。
ヒトとヒト以外の霊長類の心のはたらきを胎児期から比較し、ヒト特有の心の発達とその進化的基盤を明らかにする「比較認知発達科学」という分野をあらたに開拓した。
著書に、『まねが育むヒトの心』（岩波書店）、『心が芽ばえるとき』（NTT出版）、『なぜ「まね」をするのか』（河出書房新社）など多数。

## 分科会 2

### 歯科医師が教える０歳から始める健康長寿のための食育
### ～子どもたちの輝かしい未来のために今知っておくべき食育３つのポイント～

藤原（ふじわら） 康生（やすお） 氏（生田歯科医院副院長／保育士（チャイルデント））

今の子どもたちは虫歯が減った反面「口呼吸」「歯列不正」「発達障害」など様々な問題が増えてきています。幼少期に正しい食べ方を習得することが一生の健康に寄与することがわかってきました。美顔、健康のための正しい食育をご紹介します。

平成12年　福岡県立九州歯科大学卒業
介護支援専門員資格取得後生田歯科医院にて高齢者の摂食嚥下を担当。幼少期に覚える「食べ方」が寝たきりに大きく関与していると確信し、天草市保育所連盟の協力のもと各保育所で食育の指導を行っている。
熊本県出身　歯科医師　保育士
日本摂食支援協会　指導医
顎顔面機能咬合研究会　指導医
チャイルデント養成講座　指導医

## 分科会 3

### ママである私が笑顔で生きる。
### ～支援拠点事業が地域と家族に明るい笑顔を贈る～

堀（ほり） 昌浩（まさひろ） 氏（社会福祉法人　鐘之鳴る丘友の会認定こども園さくら 園長）

山下（やました） 真実（まみ） 氏（株式会社こころく 代表取締役）

心かるく あかるく まるく、笑顔で居られる自分であること。在る調査によると77%のママが産後2週間から1年の間に「産後うつ」に近い感覚を受けているとの報告があるように、産後のケアはとても大切なテーマであるが、地域が、社会がその扉をなかなか開けられない。支援センター（支援拠点）が核になり地域と家族をゆるくつなぎ、笑顔をもたらす実践を参考に「新たなにぎわいのある地域」を子育て支援の地方創生を考える。

★日本保育協会青年部 全国青年部長（H20～H24）
★一般社団法人Learning journey発会（H29～）
★日本保育協会中央推薦評議員（H29～現在）

アメリカにて経営大学院(MBA)卒業後、金融業界でキャリアを築きながら、2011年に第一子を出産。2013年には、子どもの幸せを第一に考えるママ達がしっかりリフレッシュできる時間を提供する「託児付きランチ・お出かけサービス『ここるく』」を立ち上げ。ママには子育てパワーをチャージできるリフレッシュできる時間を、子どもたちには保育者との充実した時間を…
定評あるレストラン等を子育てママのために託児付きでリザーブすることで、その両方を同時に叶えるサービスを運営しています。

※日本商工会議所女性起業家大賞受賞
※一般社団法人Learning journey理事

分科会４

## 子どもをとりまく世界の「今」

山田（やまだ） 眞理子（まりこ） 氏（NPO 法人子どもとメディア 代表理事）

子どもたちは、環境からの影響を受けて生きています。そして、その影響の結果がまだ出ていないスマホ、タブレット、動画などのメディア環境はますます増えています。子どもたちは、そこからどのような影響を受けているのでしょう？

群馬県生まれ。京都大学大学院教育学研究科修士・博士課程(臨床心理学専攻)修了。
九州大谷短期大学幼児教育学科において32年間保育者養成に携わる。還暦を機に大学教授の職を辞し、子どもの心に寄り添うことを願う現役保育者とその保育者養成にかかわる大学教員養成のための研修の場として、「子どもと保育研究所ぷろほ」を立ち上げる。
保育心理士資格や言語保育セラピスト資格、乳幼児メディアアドバイザー資格など、保育現場で必要とされる専門性を次々と明らかにしつつ、保育者のための学びのシステムを作り出している。

# 分科会Ⅱ　12月4日（火）13:00 ～ 15:00

分科会５

## 読む力が未来をひらく

脇（わき） 明子（あきこ） 氏（「岡山子どもの本の会」代表／ノートルダム清心女子大学名誉教授）

幼児期には絵本が大切だが、「反応がよかった」「笑った」で安心していると、メディアの世界の大きな危険から子どもたちを守ることはできない。生きる力の基礎となる「読む力」を、幼児期にどう育てるかを考えていく。

東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。ノートルダム清心女子大学名誉教授。「岡山子どもの本の会」代表。専門は児童文学、子どもの読書の問題。著書に『読む力は生きる力』『読む力が未来をひらく』『あたごの浦』『おかぐら』など。訳書に『まどのそとのそのまたむこう』『蛙となれよ冷し瓜』『不思議の国のアリス』『オタバリの少年探偵たち』『雪女　夏の日の夢』『センダックの絵本論』ほか多数。香川県出身。

分科会６

## 保育所保育指針に見る保育の未来

浅井（あさい） 拓久也（たくや） 氏（秋草学園短期大学准教授）

保育所保育指針改定の背景と概要について詳説します。新しい指針はどのような保育を求めているのか、なぜそのような保育が必要なのかを通じて、子どもたちの豊かな育ちを保障する保育のあり方について考えるような時間にします。

秋草学園短期大学准教授。専門は幼児教育学。大学や短期大学の専任講師を経て現職。認定こども園や保育園の顧問やアドバイザーも務めている。著書に『マンガでわかる！保育所保育指針2017年告示対応版』(中央法規出版)等がある。愛知県名古屋市出身。

分科会７

## 命をつなぐ・生活を営む力をつなぐ

榊原（さかきばら） 久子（ひさこ） 氏（新渡戸文化短期大学准教授）

子どもの最善の利益の保障とは、どのような生活を営むことなのでしょうか。
妊娠・出産・育児を取り巻く現状と課題を見つめながら、これから必要とされる保育・子育て支援について考えていきます。子育て支援から生活と育児機能支援・関係性の発達支援へ。
キーワードは「温故知新」です。

新渡戸文化短期大学生活学科児童生活専攻　准教授
社福)つばさ福祉会 法人理事　保育園版ネウボラ事業統括
にっぽんネウボラネットワーク研究所代表
日本赤十字社助産師学校・秋草学園短期大学・岡崎女子大学・川口短期大学・非常勤講師
臨床発達心理士・保育士・幼稚園教諭第1種
東京都出身　専門：発達心理学

分科会８

## 現場で活かす！０・１・２歳児の未来を育む３つのＴ

髙木（たかぎ） 早智子（さちこ） 氏（花園第二こども園 園長）

「3000万語の格差と保育者の話しかけ」(ダナ・サスキンド著　明石書店　2018年)によると、「人生の基礎は3歳までの言葉環境で作られる」ことが科学的根拠を持って示されました。また、「家庭保育との比較性からみた保育の観察研究」(髙木早智子他　『保育科学研究』2018年)を行ったところ、乳児に対する保育者の話しかけに関して興味深いデータが得られました。この分科会ではそれらの内容を基に、子育て支援や保育の現場で、私たち保育者がどう子どもにかかわっていくべきなのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

花園第二こども園(埼玉県深谷市)園長。埼玉県の私立保育園有志の会「親心を育む会」事務局。親心を育む会の名義で『一日保育士体験のすすめ～保育園で育む親心』(大修館書店2012年)出版。香川県(うどん県)出身。

# 特別企画

特別先行試写会

## あの日のオルガン

戸田恵梨香　大原櫻子　佐久間由衣　堀田真由
夏川結衣　田中直樹　橋爪功
監督・脚本：平松恵美子　原作：久保つぎこ

©映画『あの日のオルガン』製作委員会

第二次世界大戦末期、東京都品川区戸越保育所の保母たちが幼い園児たちと集団で疎開し、東京大空襲の戦火を逃れた「疎開保育園」の実話を描く映画「あの日のオルガン」（2019 年２月公開予定）。目の前を阻む幾多の困難をたくましく前向きに乗り越え、子どもの命を守った、知られざるヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語です。

## 常設展示「こそだて横丁」

昨年からお目見えした「屋台村」が、名前も新たに埼玉大会にも登場します。その名も「こそだて横丁」。子育てに役立つモノ・コトであふれています。空いた時間に遊びに来てください。

# まあせんせいと遊ぼ！

12月4日（火）12:00～12:30

まあせんせいをご存知の方も、ご存知ない方もさぁご一緒に！最後にはきっとあなたもまあせんせいのト・リ・コ。歌って、踊って、心もほっこりする‥そんな菊地政隆先生のライブを二日目のお昼に行います。二日目のお昼はやることがたくさん！

**菊地（きくち） 政隆（まさたか） 氏**

- 学校法人袋山学園 認定こども園　しらこばと幼稚園（埼玉県越谷市）理事長・園長
- 修紅短期大学 客員准教授
- 静岡第一テレビ 歌のお兄さん

## 心のお土産「十人十彩（じゅうにんといろ）」

参加者同士の交流を目的とした「十人十色な物語」。皆さんが十人（多くの人）と色んな物語を繰り広げられるよう、ここネット全国大会ではこの「十人十色」の企画を続けています。今年は「彩の国・埼玉」にちなんで名付けました。どんな仕掛けになるでしょうか？乞うご期待！大会が終わっても皆さんの交流が続きますように。

この交流は研修の合間や、１ 日目最後の「交流会」の中でも予定しています。（交流会：参加費 7,000 円、別途申込）

ところで、川越の街ってご存知ですか？時の鐘や蔵造りの町並みが有名ですが、「菓子屋横丁」という名所も風情があり人気があります。しかし、せっかく川越までいらしてくださったのに、大会内容がびっしりでとても街歩きのお時間はとれません。

そこで「菓子屋横丁を埼玉大会にも出現させよう！」とスタッフが知恵を絞っております。**当日、皆様のお国自慢の銘菓（個包装）の持ち込み大歓迎です！**お荷物が増えてしまうかもしれませんが、それでもいいわとおっしゃる優しいあなた。初日受付にお渡しください。持ってきていただいたお菓子はありがたく交流に使わせていただきます。

# お申込み

## 参加登録（分科会、お弁当、交流会）、宿泊予約

本会の参加登録（分科会、お弁当、交流会）、宿泊予約につきましては、下記ホームページよりお申込み頂けます。

**https://va.apollon.nta.co.jp/kokonet2018/**

**※FAX 申し込みにも別途対応いたします。　FAX:048-501-0019**

希望の方は申込書をお送りしますので、「ここネット参加申込書希望」と明記し氏名と FAX 番号をお送りください。

### 1. 大会参加

（大会参加費）
一般参加者（個人・団体）　**16,000 円(会員)／ 18,000 円(非会員)**
※分科会の予約も必ず行ってください。
※協賛 及び 展示ブース団体は、参加費免除制度がございます。大会事務局から送付される別途資料をご参照ください。

### 2. 分科会　※分科会Ⅰよりひとつ、分科会Ⅱよりひとつ選択

**分科会Ⅰ**
- 第1分科会　未来の子どもたちの脳と心の発達を考える
- 第2分科会　歯科医師が教える0歳から始める健康長寿のための食育
- 第3分科会　ママである私が笑顔で生きる。
- 第4分科会　子どもをとりまく世界の「今」

**分科会Ⅱ**
- 第5分科会　読む力が未来をひらく
- 第6分科会　保育所保育指針に見る保育の未来
- 第7分科会　命をつなぐ・生活を営む力をつなぐ
- 第8分科会　現場で活かす！0・1・2歳児の未来を育む３つのＴ

### 3. 交流会

**12月3日（月）18：30～（会場：ウェスタ川越内　多目的ホール）**
**会費：7,000 円**
※11月20日(火)以降の参加取消によるご返金はできかねますのでご了承下さい。
※事前申込のみとなります。当日の受付は行いません。

### 4.お弁当

**12月4日（火）のみのお取扱いとなります**
**料金：1,000 円**
※11月20日(火)以降の参加取消によるご返金はできかねますのでご了承下さい。
※事前申込のみとなります。当日の販売はございません。

### 5. 宿泊

**12月2日（日）、12月3日（月）、12月4日（火）宿泊分**のお取扱いとなります。
※掲載料金は1泊朝食付き（一部ホテルは1泊食事なし）、消費税、サービス料込のお一人様料金です。
※川越市のホテル事情により、すべてのご参加者に川越市内のホテルをご案内することができません。ご予約は先着順とさせて頂いており、満室の際はおそれいりますが、周辺地区のホテルをご利用いただきます。また、その際の交通費につきましては、ご参加者の負担とさせて頂きます。

### 6. 定員　500 名

**【ご注意】**
1. お支払いにつきましては、事前支払いのみです。当日・後日はお承りできませんので、予めご了承ください。
2. 請求書・振込用紙の送付はございません。左側「お支払い」ボタンから請求書をダウンロードしてください。

**＜ご変更・追加・お取消について＞**
参加申込みのご変更・追加・お取消しにつきましても、ホームページ上にて承ります。
大会参加のお申込みの後に、事前のご連絡のないまま当日不参加された場合、大会参加費のご返金はお受けできませんので予めご了承ください。
また、各お申込み内容の取り消し発生日により、下記取消し料金を申し受けます。

**（取消料金）**

| | |
|---|---|
| 4日前まで | 無料 |
| 3日前～前日まで | （旅行代金の）20% |
| 当日 | （旅行代金の）50% |
| 無連絡の取消及び不泊 | （旅行代金の）100% |

**お支払いおよびご返金**
**お支払い期限：平成30年10月31日（水）**

1. お支払いにつきましては、①オンラインによるカード決済、②銀行振込み、③コンビニ決済のいずれかを、ホームページ上にてご選択頂きます。
2. ご請求書につきましては、ホームページ上で常時確認・印刷が可能です。
3. お支払いを確認後、領収書をホームページ上で発行することが可能ですので、必要がありましたら「領収書の発行」ボタンをクリックして発行してください。
4. ご返金のある場合は大会終了後にご登録いただきました口座へお振込みによりご返金いたします。
（クレジットカード精算のご返金はクレジット処理致します）

**＜アクセス＞**

〒350-1124　埼玉県川越市新宿町1－17－17 ☎ 049-249-3777
■JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分
■西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分
「本川越駅よりバスをご利用の場合
■「本川越駅」西武バス乗り場①番　・新所02、本55系統、本53、本54系統
■「本川越駅」西武バス乗り場②番　・川越35、川越35-1系統
**駐車場**：収容台数:200台　最初の1時間無料。以降1時間ごと200円


事務局

なでしこ保育園
〒360-0803
埼玉県熊谷市柿沼921-9
FAX: 048-501-0019
E-mail: persimmon@kodomo.ed.jp
担当：大谷

参加登録及び宿泊予約などについてのお問い合せ（運営事務局）

株式会社日本旅行 埼玉支店
〒330-0802
埼玉県さいたま市大宮区宮町4-129　大栄ツインビルN館５階
TEL：048-648-0111　FAX：048-648-6455
E-mail：hiroyuki_hatanaka@nta.co.jp
担当：畑中 /末益/ 中野（月～金曜日　9:30～17:30　土日祝休業）